

平成 22 年度 事業計画

社団法人日本スカッシュ協会

(1) スカッシュ競技の普及に関する事業

① スカッシュデー・スカッシュウィークの実施

主催：(社) 日本スカッシュ協会

主管：全国のスポーツクラブ及び地区支部等

日程：<スカッシュデー>平成 23 年 2 月 11 日

<スカッシュウィーク>平成 23 年 2 月 5 日～13 日

会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート等

目的：スカッシュの楽しさをより多くの方に体験して頂きスカッシュの一層の普及を目的とする

対象：一般の方、どなたでも。

参加予定人数：約 2,000 名

内容：スカッシュ体験会、試打会、ヒッティングパートナー、コーチング、レンタル無料デー、スカッシュ大会、3/4 ゲーム大会等

② 広報活動

イ) 広報誌<SQUASH>の発行 (年 2 回を予定)

Vol. 67 (夏の号) 7 月発行予定

Vol. 68 (冬の号) 平成 23 年 2 月発行予定

ロ) 協会ホームページの運営。11 月を目処にリニューアル予定。

ハ) 携帯メールによる情報の発信の実施

ニ) 体育協会記者クラブ等マスコミへのプレスリリース等情報発信

③ 大会等のスポンサー対策及び増進

④ 普及渉外委員会の中に「環境対策委員会」を設立して、大会等で J S A エコプロジェクトとして活動を開始する。

(2) スカッシュ競技の競技力の向上に関する事業

① アクションプラン活動とアクションプラン募金活動

目的：世界に通じる選手の育成と指導者の養成を目的とします。

対象：選手強化活動とコーチ養成の活動が対象となります。

内容：ナショナル強化プロジェクトチームによるスカッシュエリートプログラムの実施とその運用研究。また、全国の地区支部や協会の大会において募金活動を行い、主に海外遠征やコーチ講習会の充実の為に活用される。

② J S A 公認レベル T (普及トレーナー) 及びレベル 1 (コーチ) 認定講習会と認定試験の開催・公認とワークショップの開催

主催：(社) 日本スカッシュ協会、団体会員及び地区都道府県支部

日程：年 4 回開催予定

会場：未定

目的：スカッシュの正しい知識と指導法を体得し、スカッシュの一層の技術向上。

対象：レベル T—スカッシュの初心者レベルでのグループ作り等のサポートが出来る方。

レベル 1—一般的なクラブプレイヤーをコーチングする指導者。

参加予定人数：各回 10 名前後を予定

内容：レベルT---基本知識と基本ショットの正しいストローク方法、レフリー・マーカーの基本知識等。

レベル 1---全ての基本ショットの正しいストローク方法やフィーディング（球出し）方法、マンツーマン&グループコーチング、試合開催の組織作り、基本戦術とルール、レフリー・マーカーの知識等

③ J S A 公認審判講習会と認定試験の開催、開催支援と公認<2 級・3 級・4 級>

主催：日本スカッシュ協会および全国の地区都道府県支部

日程：4 月 11 日(日) 他、全国にて年 10 回開催予定

会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート又は地域公共施設

目的：レフリー・マーカーの正しい知識を習得し、スカッシュ審判の一層の技術向上を目的とする

対象： 4 級---一般、ジュニア等のスカッシュ経験が浅い者等。

3 級---スカッシュの競技歴が 1 年以上と認められる者等。

2 級---スカッシュの競技歴が 3 年以上と認められる者等。

参加予定人数：各回 10~30 名前後を予定

内容：講習会にて、正しいルールやレフリー・マーカーのあり方、正しいジャッジ（判断）の進め方、トラブルの対処方法、観客や試合のコントロールについて学び、筆記試験と実技（DVD）試験の点数により認定の可否が決められる。

④ J S A 承認審判講師の認定

主催：日本スカッシュ協会

日程：4 月 11 日

会場：勤労福祉会館(東京都杉並区)

目的：レフリー・マーカーの正しい知識とスカッシュ審判技術の普及振興とレベルアップを図る為の全国の講師を育成する。

対象：全国の地区都道府県支部の審判講師の承認希望者

参加予定人数：若干名

内容：審判講習会の現場での具体的な講習を通じて、審判講師に必要な知識・技術・技能・態度などを指導し、修得させることによって、全体的な講習会の講義能力や力量を育成する。

⑤ J S A 承認審判講師スキルアップ研修

主催：日本スカッシュ協会

日程：4 月 10 日~11 日

会場：井草地域区民センター(東京都杉並区)

目的：承認審判講師のスキルアップをし、世界との一貫性を持ったスカッシュ・ルールの全国普及を目指す。

対象：全国の各支部の審判講師を希望するもの

参加予定人数：10 名前後

内容：第 10 回世界レフリー会議(2009 年 9 月開催)の内容をはじめとして、国内外のスカッシュの審判に関する情報資源を使用して講習を行う。

⑥ ナショナルスカッシュ強化合宿の開催

主催：(社) 日本スカッシュ協会

< J O C 平成 22 年度選手強化委託事業 (予定) >

日程：< 冬期 > 12 月

< シニア強化合宿 > 8 月~10 月

- 会場：(千葉県) サンセットブリーズ保田、他(予定)
目的：アジア競技大会・東アジア競技大会等においてメダルを獲得する事を目標に、技術力の向上とフィジカルの強化等目的とする。
対象：ナショナルチームの選手、アクションプラン選手、ジュニア選手に一般の選手もプラスした幅広いプレイヤーを対象とした中から卓越した才能を発掘し育成強化を目指す。
参加予定人数：各回 10～20 名前後を予定
内容：フィジカルチェック、コンディショニングゲーム、フィジカルトレーニング、基本ショット及び戦術練習、ゲーム練習、等。
- ⑦ 日韓合同スカッシュ交流事業
主催：(社) 日本スカッシュ協会 & 韓国スカッシュ協会共催
日程：平成 23 年 3 月
会場：韓国(予定)
目的：日韓両国の交流及びスカッシュの技術向上を図る事を目的に、毎年日本と韓国を交互に開催地として実施している。
対象：<ジュニア>日韓両国のジュニアトップ選手
<シニア>日韓両国のナショナルトップ選手
参加予定人数：各国 10 名前後
内容：日韓合同練習・トレーニング、テストマッチ、インターポートマッチ、親善交換会

(3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業

- ① 協会主催の競技大会 ※日程、会場等は予定
- イ) 第 21 回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会
日程：6 月 5 日 6 日
会場：セントラルフィットネスクラブ錦糸町
目的：日本のトッププレイヤーを目指す若いプレイヤーの育成強化を目的とする。
対象：23 歳未満の男女
参加予定人数：約 100 名
内容：トーナメント制
- ロ) 第 29 回ジャパンオープンスカッシュ選手権大会<検討中>
日程：6 月～9 月
会場：未定
公認：P S A (プロスカッシュ協会(男子)) W I S P A (女子国際スカッシュプレイヤーズ協会)
目的：海外のトッププレイヤーを招待して開催する国際試合。海外選手との交流や技術向上を目的とする。
対象：P S A、W I S P A 登録選手及び日本の選手。
参加予定人数：約 150 名
内容：男女一般、マスターズ、フレンドシップ
- ハ) 第 24 回ジャパンジュニアオープンスカッシュ選手権大会
日程：8 月 18 日～20 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム S Q-CUBE
目的：海外のジュニア選手の参加により、日本の選手との交流と技術向上を目

的とする。

対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9の選手

参加予定人数：約100名

内容：トーナメント制

ニ) 第16回マスターズカーニバル

日程：10月9日～11日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム S Q-CUBE

目的：今年は3日間開催にてマスターズの年代のスカッシュ愛好家による親睦を図り、スカッシュの試合を通じた楽しい仲間作りを目的とする。

対象：男女オーバー30、40、50、60（初心者～ベテラン）

参加予定人数：約150名

内容：トーナメント及びリーグ制

ホ) 第39回全日本スカッシュ選手権大会

日程：11月（3日）4日～7日

会場：未定

目的：全国で開催された公認大会において上位の成績を収めた選手達により、日本チャンピオンの座を競う国内最高峰の大会。日本全国のトップ選手の交流と一層の技術向上を目的とする。

対象：全国の公認大会における上位入賞者で、日本国籍を有する者、及び男女マスターズ

参加予定人数：約230名

内容：トーナメント制

ヘ) 第4回全日本選抜ジュニアスカッシュ選手権大会

日程：12月又は平成23年1月

会場：未定

目的：日本のジュニアチャンピオンを決定する大会。年代の壁を超えてチャレンジ出来る機会を与える事を目的とする。

対象：19歳未満の男女

参加予定人数：約30名

内容：トーナメント及びリーグ制

ト) JOCジュニアオリンピックカップ第15回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会（冠は予定）

日程：平成23年3月下旬

会場：未定

目的：日本のジュニア選手で年代別ジュニアチャンピオンを競う大会であり、交流と技術向上を目的とする。

対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9の選手で、日本国籍を有する者。

参加予定人数：約150名

内容：トーナメント制

② 海外大会日本代表派遣(予定)

イ) 第15回アジアスカッシュ選手権大会＜個人戦・団体戦＞

＜JOC平成22年度選手強化委託事業＞

日程：5月1日～5月8日

開催地：インド、チェンナイ

種目：個人戦、団体戦、

- ロ) ペナンインターナショナルジュニア大会
＜ J O C 平成 22 年度選手強化委託事業＞
日程：6 月 1 日～5 日
開催地：マレーシア、ペナン
種目：男女アンダー19,17,15,13,11
- ハ) ミロ・オールスタージュニア大会
＜ J O C 平成 22 年度選手強化委託事業＞
日程：6 月 7 日～12 日
開催地：マレーシア、プキットジャリル
種目：男女アンダー19,17,15,13,11
- ニ) 第 5 回東アジアスカッシュ選手権大会
＜ J O C 平成 22 年度選手強化委託事業（予定）＞
日程：6 月 24 日～6 月 26 日
開催地：チャイニーズタイペイ
種目：男 3 女 2 の混合団体戦
- ホ) 第 16 回男子世界ジュニアスカッシュ選手権大会＜個人戦・団体戦＞
＜ J O C 平成 22 年度選手強化委託事業（予定）＞
日程：7 月 27 日～8 月 7 日
開催地：エクアドル、キト
種目：個人戦、団体戦
- ヘ) 香港ジュニアオープン
＜ J O C 平成 22 年度選手強化委託事業（予定）＞
日程：8 月 11 日～15 日
開催地：香港
種目：男女アンダー19,17,15,13,11,9
- ト) 第 16 回アジア競技大会
＜ J O C 派遣事業＞
日程：11 月 12 日～11 月 27 日（スカッシュ：18 日～25 日）
開催地：中国、広州
種目：男女シングルス、男女団体戦
- チ) 第 17 回女子世界スカッシュ団体選手権大会
＜ J O C 平成 22 年度選手強化委託事業（予定）＞
日程：11 月 29 日～12 月 4 日
開催地：ニュージーランド、パーマストンノース
種目：女子団体戦
- リ) 第 3 回アジアジュニアスカッシュ選手権大会
＜ J O C 平成 22 年度選手強化委託事業（予定）＞
日程：7 月 7 日～10 日
開催地：スリランカ、コロンボ
種目：個人戦

③ 海外派遣承認大会（予定）

- イ) スコティッシュジュニアオープン
日程：12 月下旬
開催地：スコットランド
種目：男女アンダー19,17,15,13,11,9

ロ) ブリティッシュジュニアオープン

日程：平成 23 年 1 月上旬

開催地：イギリス

種目：男女アンダー19,17,15,13,11,9

④ 国際大会の日本開催に向けての資金及び情報の収集

目的：ジャパンオープンスカッシュ選手権大会や東アジアスカッシュ選手権大会等、海外選手と対戦する機会を作る事により日本選手の技術の向上を図る。又、国際大会を開催する事により間近で海外トップ選手のプレイを観戦する機会を作り、より多くの人々にスカッシュへの関心を高めてもらい一層の普及を図る。

計画：協会創立 50 周年（平成 33 年）までに 840 万円を目標に、年間 20 万から 30 万円の資金を積み立て、協賛企業の協力が得られない状況であっても国際大会の日本開催を実現したい。

(4) その他本会の目的を達成する為に必要な共通事業

① アジア競技大会に向けてのロビー活動及び選手強化活動

目的：2010 年 11 月のアジア競技大会ではスカッシュの種目が増える為（これまでの個人戦に団体戦が追加）より多くの日本人選手が出場できるように努力し、メダル獲得に向けて選手強化を一層充実させる。

対象：男女ナショナルチーム。

種目：男女シングル戦、団体戦

内容：選手強化の為の合宿を集中して行う。

② オリンピック競技大会での正式競技入り実現の為の推進活動

目的：スカッシュの普及発展の為、WSF（世界スカッシュ連盟）との連携により、IOC（国際オリンピック委員会）並びに開催国スカッシュ協会への 2020 年オリンピック競技入り要請運動を展開する。

③ ドーピング検査及びドーピング防止啓蒙活動

目的：(財) 日本ドーピング機構に加盟して、競技会検査及びドーピング防止の為の啓蒙活動を積極的に行う。大会会場にて展示説明コーナーを設置。

④ 会員募集事業と公認事業制度の運用

目的：平成 22 年度より個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は(株) アプローチ運用の「スポーツエントリー」を利用して利便性を図る。

世界スカッシュ連盟 (WSF) の規格に基づいて、コート及びボールの公認を行いスカッシュ競技の安全性や統一を図る。

又、公認大会の運用（要項、ドロー、結果の確認及び公認）やランキング等の発表を行い、公認大会の全国統一とレベルアップを図る。

⑤ 世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、男女国際プレーヤーズ協会等海外との連絡調整

目的：海外対策委員会を中心に海外の情報収集及び国内情報の発信及び海外との協力体制で積極的な活動を行う。

⑥ 全日本学生連盟との連携、強化

目的：平成 22 年度より学生連盟の所属選手も個人登録とし、協会機関誌を個別に発送する事により情報を一層密に伝達する。又、大会等における協力体制を強化する。

⑦ 「(社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」建設に向けた資金及び情報の収集

目的：スカッシュ人口増大の為には、協会保有のスカッシュコートを建設しての普及活動が不可欠。又、集中的な選手強化の為にもスカッシュコートを含むトレーニングセンターの建設が必要です。国や自治体の協力を得て「(社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」の建設を目指し、資金と情報の収集に努力する。

計画：協会創立 70 周年（平成 53 年）までに 1 億円を目標に、年間 40 万円から 100 万円の資金を積み立て、不足分は基本財産や寄付金にて実現したい。

⑧ 公益法人制度改革における公益社団法人への移行申請予定

目的：平成 22 年秋頃を目標に公益社団法人への移行申請を予定。プロジェクトチームにより、定款の作成、役員の設定、会計の整備等、提出書類を準備して申請する。